



## 礼拝ミニ講座（10）＜宣教①＞

プロテスタント教会の礼拝の中心はみことばの宣教（説教）となっています。

### 〈神、説教者、会衆〉

礼拝の宣教においてなされていることは、神が語ろうとしているメッセージを、説教者が聖書のことばを説き明かして取り継ぎ、会衆が自らに神が語られたと受け止めることです。

### 〈語りかける神〉

聖書の特定の箇所から神が会衆に語るようにと説教者に示すメッセージが礼拝の宣教（説教）です。会衆の抱えている課題や置かれている状況をご存知の神が、みことばとみことばの宣教によって会衆一人ひとりに語りかけてくださいます。そのために説教者が用いられます。説教者の生活と奉仕、信仰と人格を生かして、神が彼にメッセージを与えます。

### 〈取り継ぐ説教者〉

説教者は宣教（説教）を語るために、祈りつつ、準備します。そのためには聖書や神学に関する不断の学び、様々な知識や経験、会衆を知ることが必要であり、それらが基盤となります。神のメッセージを正しく伝えるために、また会衆がふさわしく受け取るために、説教をまとめます。このために説教者は神に召され、自らを献げています。神の導きと祈りなくしてはできないことです。

参考聖書箇所…詩篇 50:7、イザヤ 43:12、ヨハネ 3:34

次回の宣教②に続きます。

「礼拝ミニ講座」は、礼拝についての学びの入口として、会衆が礼拝について（特に礼拝プログラムについて）学び、整えられていくことを目的としています。礼拝前のひと時、個人の学び、グループでの学びにご活用いただければ幸いです。